

シグマ研究委員会  
核データ専門部会W.G.リーダー会合

日 時 1981年12月18日 10:00～12:00  
場 所 原研本部第6会議室  
出席者 菊池, 浅見(原研), 村田, 川合(NAIG), 松延(住原工),  
北沢(東工大)

配布資料

- (1) 「JENDL-3」に関する答申
- (2) JENDL-2 Summary Report の例

議 事

1. 各W.G.の活動報告と今後の対応

各W.G.リーダーから今までの活動の報告と, JENDL-3作成のためにどう対応するか議論した。その結果以下の方針が確認された。

a) ガンマ線生成核データW.G.

- Al, Nb,  $^{238}\text{U}$ , Fe, W, Mo, Na, Pb,  $^{235}\text{U}$ を評価中で1984年初頭に完了予定
- 他の核種についての対応が必要だが1982年度は人も増やさずこのままで行きたい。

b) FP核データW.G

- smooth part は今年度中に終るが, 共鳴パラメータは来年に持ち越しそう。
- W.G. は存続させるが, 手の空いた人はJENDL-3評価に入る。

c) 核融合核データW.G

- 現在行っているplot作業は今年度内にキリをつける。
- 来年度からはfusion communityとの接点としての機能のみ残して縮少する。
- 評価は別W.G.でやる事にし, 大部分の人はそちらに加わる。

d) 核データ評価コード W. G.

- GNASHは動くようになった。
- 来年度は改組して、JENDL-3 評価の中心母体となる。

e) 評価方法サブ W. G.

- $\sigma_t$ ,  $\sigma_{el}$ ,  $\sigma_{in}$ ,  $\sigma_{n\gamma}$ ,  $\sigma_f$ ,  $(n, 2n)$ ,  $(n, 3n)$ , R. P. について検討を行い、来年度は JAERI-memo にする。
- 今後 discrepancy file や standard file の watch をして行く。
- 将来 JENDL-3 用に実験法の解説書を作る。

2. JENDL-3 評価のための新 W. G.

a) 核データ評価コード W. G. メンバーを中心に、核融合炉核データ W. G. と FP 核データ W. G. の大多数を加えて、JENDL-3 評価の為の大 W. G. を新設する。

b) 新設 W. G. は以下のサブ W. G. に分かれて活動する。

- 1)  $A < 20$
- 2)  $20 < A < 40$
- 3)  $40 < A < 80$
- 4)  $80 < A < 180$
- 5)  $180 < A$

c) 評価方法サブ W. G. もこの W. G. に加わる。

d) マンパワー不足と  $A < 20$  領域の経験不足を補うため、原研核 1 の理論屋の参加が強く要望された。

3. JENDL-2 Summary Report

JENDL-2 Summary Report を書く為、資料(2)のような簡単なレポートを各評価者が用意することになった。

4. 全体会合を 1 月 21 日(木)に開く事になった。